



浄土宗コドモタイムズ

第74号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
齊藤 一光
〒873-0002
大分県杵築市大字
南杵築371
正覺寺内
TEL 0978-62-3063
FAX 0978-68-8301

メジロのかくれんぼ

詩・絵 今井 康隆

メジロがかくれて
かくれんぼ
しきりに飛び交う
椿の繁み
チヨチヨン チヨチヨンと
飛びまくり
椿の蜜を吸いまくる
どんなに上手にかくれても
白いお目めが
めだちます
暗がりほどに
目がめだち
チヨチヨン チヨチヨンと
かくれんぼ
ほうら、そこだつ
見つけたつ



春の日のでかいと

星木 レイ

みよちゃんはお母さんと川辺に土筆採りに来ています。暖かい日ざしが降りそいで、川面がキラキラと光っています。時々ポチャンと魚が飛びはねました。やがてみよちゃんのカゴは土筆でいっぱいになりました。

「お母さん、ヨモギもあるね。ヨモギ餅作ってくれる？」

みよちゃんがたずねると、お母さんはニコニコして、「いいわよ」と言ったとたんに息を飲みこみました。

みよちゃんが不思議そうにお母さんの見つめている方をふり返ると、なんとそこには、小さな赤ちゃん熊がいるではありませんか。

「かわいいー！」とみよちゃんがさけぶと、すぐさまお母さんがみよちゃんの口を手でふさぎ、ぎゅつとだきしめました。

「どうしたの」みよちゃんがささやくと、「暖かくなったから、冬眠から覚めたのね。子熊の近くには必ず親熊がいるのよ。一体どこにいるのかしら？ とにかくここからはなれないと……」

お母さんはきよろきよろあたりを見わたしましたが、親熊の姿は見当たりません。その時です！ なんと子熊がこちらに気がついて、トコトコと近づいてくるではありませんか！

「だめ！ こっちに來ないで」とみよちゃんをギュツとだきしめながら、お母さんはつぶやきました。

その時、川面でパシヤンと魚がはねました。子熊はそちらに気を取られて、今度は川の方へ歩いていきました。

川に突き出た岩から魚を見ようと思ったのか、子熊が岩によじのぼったとたん、ツルツとすべって川に落ちてしまいました。バッシヤーンと大きな音がしたかと思つたその時、一体どこにいたのか、まっ黒な大きな親熊が、ものすごい勢いで川に飛びこみ、子熊をくわえると岸へはい上がって

山の方へ消えていきました。

お母さんはヘナヘナとその場に座りこんでしまいました。

「ああ、よかったあ」とお母さんはみよちゃんをギュツとだきしめました。

「熊のお母さん、すごい勢いだったね。お母さんも、みよがおぼれたら、あんな風に助けに来てくれるかな？」と、みよちゃんはお母さんの腕の中で聞きました。

「もちろんよ！」お母さんはニッコリとほほえみました。

春の日ざしがやさしく二人に降りそいでいました。

おわり





ナムナムナム 質問箱

質問

人は死ぬとどこにいきますか

(大分 小学4年 女子)

答え

大切な人が亡くなる事はとても悲しいことです。その人は亡くなってどうなった

たのだろう。どこにいくのだろう。何をしてい
るだろう。気になるところです。きっと人とし
て生まれ変わるのだろう。そう思っている人も
多いかもしれませんが、実はそんなにあまくあ
りません。過去の行いにより私たちの次に生ま
れる場所が決まります。悪いことした人は地獄
や餓鬼や畜生などと呼ばれる苦しい世界にい
きます。

仏教を開かれたお釈迦様は「約2500キロ
もあるガンジス川、その砂浜で砂を一握りつか
んで、人として生まれる確率はこれほどのもの
です。」とお弟子様に伝えました。2500キ
ロも続く砂浜のほんの一握り。人として生まれ

る確率はその程度のようなです。亡くなった人は
どこにいくのかわからない。それが正解です。

でもたった一つ次の世界を決められる方法が
あります。それは仏様をお願いすること。「阿
弥陀様お願いします。」この願いを言葉にする
と「南無阿弥陀仏」といいます。「南無阿弥陀
仏」とお念仏申したら極楽浄土という世界に生
まれることができます。そこでは、立派な仏様
になれるように修行をし、いま生きている大切
な人に良いことあるよう導くこともできます。

「どこにいるかわからない」より「ここにいます」
とわかると、今度は自分も次にそこにいったら
また会うことができます。自分の大切な人も南
無阿弥陀仏と称えたらそこで会うことができます。

大切な人みんなで「南無阿弥陀仏」とお念仏
を称えましょう。亡くなったら極楽浄土に生ま
れることができます。残った人をいい方向に導け
ることができる。そのような世界に生まれたい
ですね。

これも仏教の言葉だよ！



もうこりた(忘己利他)

もう二度とやりたくない！ひどい経験をしたときに「もう、こりた!!」というこの言葉。語源は全く関係ありませんが、この響き「もうこりた」仏教語です。

「忘もう 己こ 利り 他た」とは「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」と天台宗を開かれた最澄様のお言葉。

「自分のことは後にして、まず人に喜んでいただく。それは仏様のような行動である。そしてその行動によって自分が幸せになる」という意味です。自分の為に行動した方が幸せになれると思うかもしれませんが、人の為に行動して幸せになることも多くあります。例えば、皆さんが電車で座っていると、一人のお年寄りが乗ってきた。「どうぞ座ってください」と席を譲ると「ありがとうございませす」とその方が喜んで座られた。その時皆さんの気持ちはどうですか。きっとすがすがしく嬉しい気持ちになっていることでしょう。「自分のことを後にして、まず人に喜んでいただく。その行為は自分が幸せになれる。」困った人に自分ができることはないか。人を思える心を養いましょう。能登半島では大きな地震が起きてたくさんの方が困っています。私たちそれぞれができる事をできる範囲で。共に力を合わせて乗り越えていきましょう。

ちがいがし

みんなよう
みんえん
考えよう



絵：岡本こずえ

お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築371 正覺寺内 浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0978-62-3063 FAX 0978-68-8301

感想もいっしょに書いてくださいね。

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきり令和6年6月30日です。

送り先

〒873-0002

大分県杵築市大字南杵築371

正覺寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0978-62-3063

FAX 0978-68-8301

前回の答え



ぷくぷく編集室



デンマークのマルグレート2世が今年の一月に退位し、世界で女性の王様が不在となりました。しかし近い将来にはスペインやベルギー、スウェーデンなど数名の女王が誕生するようです。

女性の王様、女王は何と読みますか：「じょうおう」ですよね。でも中には「じょうおう」という人もいます。その方が言いやすいので「女」をのばして「じよう」と読んでいるのでしょうか。でも辞書にある読み方は「じょうおう」です。

夫婦(ふうふ)、詩歌(しいか)、女房(にようぼう)、披露(ひろう)も同じ例です。「ふふ」「しか」「にようぼう」「ひろ」では言いにくいところから、自然とのばすようになったのだと思われます。これらは江戸時代より前から言い習わされてきて、すっかり当り前の日本語になっています。

女王を「じょうおう」と読む人が出てきたのはわりと最近のことですが、近いうちに変っていくのかも知れませんね。